

「平野の環境保全」 —水辺と水田の環境保全と再生—

期日：平成16年11月20日（土）13:00～17:30 現地見学会
平成16年11月21日（日）10:00～16:00 ワークショップ

場所：新潟ユニゾンプラザおよび新潟市周辺
（福島潟・信濃川下流などを現地見学）

主催：応用生態工学会

後援：国土交通省北陸地方整備局、新潟県、新潟市、（社）北陸建設弘済
会、（社）農村環境整備センター、（財）リバーフロント整備センター（予
定）、特定非営利活動法人日本国際湿地保全連合



写真提供：ビュー福島潟

開催趣旨：

新潟平野は信濃川と阿賀野川の2大河川とその支川が運ぶ土砂の堆積と氾濫によって作られた大沖積平野です。平野には、かつての低湿地帯の中に河川の氾濫によって生じた自然堤防が数多く点在しており、古くからの集落が形成されています。かつて大小の潟や沼が分布していた内陸部の低湿地帯では、人々の生活基盤確保のために、大河津分水など多くの河川改修事業が行われてきました。また、大規模な土地改良事業が行われ、全国でも有数の穀倉地帯となりました。反面、多くの潟や沼は埋め立てられ、現在では鳥屋野潟、佐潟、福島潟などを残すのみとなりました。その結果、現在の効率的で生産性の高い都市、住宅地、農地が形成されてきましたが、逆に、水辺環境の連続性は失われ、市街化の波が押し寄せています。

近年、全国で自然再生型公共事業が行われていますが、多くの事業は端緒についたばかりで、効果の評価軸も明確でなく、地域や対象地ごとにどのような再生目標を定めていくかについては模索中の段階と言えます。一方で、自然再生のためには地域の社会的自然的特性を踏まえ、人々の生活に根付いた協働や共生が必要であることが認識されてきています。そのためには、地域で継続して議論ができる場を設け、いろいろな事例を持ち寄り、実践につなげていく必要があります。これは応用生態工学会が当初から目指しているところであり、自然再生において順応的な管理を行うためには必要な取り組みです。

新潟でのワークショップは、研究者だけでなく、行政関係者や市民活動を行っておられる方々にもご講演いただく予定です。特に、水田を利用する生物のための環境改善や湿地再生への取り組み、河川や潟などの水辺環境の復元について紹介していただき、河川と水田を繋ぐ議論を深めたいと思います。ワークショップと合わせて、現地見学会も実施します。ワークショップのテーマに関係する河川や潟の保全・再生への取り組みの現場を実際に見て、ワークショップでの議論に参加していただきたいと考えています。ぜひ多数の参加をお願いします。

プログラム：

- 平成16年11月20日（土）（12:45 新潟駅南口東側バス停集合：ワシントンホテル側）
13:00～17:30 現地見学会（バスにて福島潟・信濃川下流などを見学予定）
18:00～20:00 交流会（ウエルシティー新潟）

- 平成16年11月21日（日）9:30～16:00 ワークショップ（予定）

- | | | |
|-------------|------------------------------------|----------------------------|
| 9:30 | 開会 | |
| 9:30-9:35 | 挨拶 | 応用生態工学会副会長 金沢大学教授 玉井信行 |
| 9:35-9:55 | 主旨説明と新潟平野の環境の概要 | 実行委員長 新潟大学教授 紙谷智彦 |
| 9:55-10:45 | 基調講演1「コウノトリの野生復帰と田園における自然再生」 | 兵庫県立大学教授 池田啓 |
| 10:45-11:10 | 講演1「トキ野生復帰に向けた水田用魚道の試み」 | 新潟大学教授 三沢真一 |
| 11:10-11:35 | 講演2「トキの野生復帰をめざした水田環境整備を考える」 | 新潟大学助教授 関島恒夫 |
| 11:35-12:00 | 講演3「トキの野生復帰に向けた川づくり」 | 新潟県佐渡地域振興局地域整備部 松川真 |
| 13:00-13:30 | 基調講演2「野鳥の楽園・福島潟」 | ビュー福島潟館長 清水重蔵 |
| 13:30-13:55 | 講演4「信濃川下流域での『エコロジカルネットワークの再生』」 | 国土交通省信濃川下流河川事務所調査設計課長 藤田士郎 |
| 13:55-14:20 | 講演5「阿賀野川水系早出川におけるショートカット後の環境変化と課題」 | 国土交通省阿賀野川河川事務所調査課長 山田幸男 |
| 14:30-15:45 | 討論 座長：新潟大学教授 紙谷智彦 | |

●参加申し込み方法・参加料
裏面をご参照ください

●申し込み期限
2004年11月12日（金）

プログラム・演題は変更になる可能性があります。

- 定員：150名（定員になり次第締め切ります）

【参加料】

- 現地見学会 正・賛助会員：2,500円、非会員：3,000円、学生：1,000円
(集合場所等の詳細を学会ホームページに掲載予定です。事前にご確認ください。)
- ワークショップ 正・賛助会員：2,500円、非会員：3,500円、学生：1,000円
(賛助会員リストを学会ホームページに掲載しています。ご確認ください。)
- 交流会参加料 一律5,000円程度(交流会参加料は現地で頂きます)

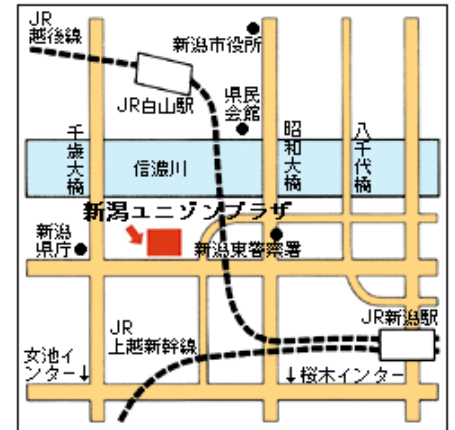
【参加申し込み】

- 添付申込用紙に記入の上ファックス下さい。
- 同等内容のEメールでも受け付けます。
- 締め切りは2004年11月12日(金)です。
- 参加証等は発行しません。事務局から特に連絡なき場合は、申し込みは受理されたとご了解ください。また、定員による締め切り状況については学会ホームページでご確認ください。

【ワークショップ会場と交通】

- 会場：新潟ユニゾンプラザ 大研修室
- 所在地：新潟市上所 2-2-2
- TEL：025-281-5511
- 交通：JR新潟駅万代口から水島町経由「県庁」または「西部営業所」行き、「上所島」で下車徒歩1分ほか便多数。また、駐車場も220台分があります。
(<http://www.fukushinijgata.or.jp/group/access.html> でご確認ください)。

【会場地図】



【交流会会場】

- 会場：ウェルシティー新潟(新潟県新潟市南万代町 1-8 TEL:025-243-3551 URL http://www.kjp.or.jp/hp_21/)

【ホテル案内】

- ホテル等の手配は、各自でお願いします。

【参加料振込先】

<p>郵便局 口座名称：応用生態工学会 口座番号：00140-7-404275</p>	<p>銀行口座 銀行名：東京三菱銀行麹町支店 口座名義：応用生態工学会(杓野伸彦)カク 口座番号：(普通)1302920</p>
---	--

【申し込み及び問い合わせ先】

- 応用生態工学会事務局 〒102-0083 東京都千代田区麹町 4-5 第7麹町ビル 25号室
TEL：03-5216-8401 FAX：03-5216-8520 E-mail：see@blue.ocn.ne.jp URL：<http://www.ecesj.com>

参加申込書 (FAX宛先：03-5216-8520)

下記の通り参加申込みいたします。

申込み月日： 年 月 日

(フリガナ) 氏名	(専門分野：)	正・学生会員 No.	
所属		賛助会員 No.	
連絡先	自宅 所属 (いずれかに○) 〒 — 住所： Tel. Fax. E-mail：		
【参加申込み事項】			参加料 (いずれかにチェック)
I. 現地見学会	[11月20日(土) 13:00~17:30]	参加・不参加	<input type="checkbox"/> 正・賛助会員；2,500円 <input type="checkbox"/> 非会員；3,000円 <input type="checkbox"/> 学生；1,000円
II. 交流会	[11月20日(土) 18:00~20:00]	参加・不参加	(一律)5,000円程度
III. ワークショップ	[11月21日(日) 9:30~16:00]	参加・不参加	<input type="checkbox"/> 正・賛助会員；2,500円 <input type="checkbox"/> 非会員；3,500円 <input type="checkbox"/> 学生；1,000円
合計参加料 (交流会参加料以外)			円
[申し入れ事項]	貴機関の経理上、「請求書等が必要」、「事後振り込みとなる」等がありましたら御記入下さい。		

*参加料は11月16日(火)までに指定口座にお振込下さい。交流会参加料は会場でいただきます。